



ノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングス：
戦略的長期的保有船数拡大とプライベートアイランド開発推進で
将来への大胆な新ビジョンを発表

ノルウェー・ジャンクルーズライン、オーシャンアクルーズ、リージェント セブンシーズクルーズの
次世代クルーズ船をフィンカンティエリ社で建設。グレートスターラップケイのインフラを強化。
平行して複数年にわたる着実なレバレッジ削減計画

2024年4月15日(東京) - ノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングス(NYSE:NCLH)
(以下、NCLH と表記)は本日、受賞歴ある 3 ブランドそれぞれの最新鋭クルーズ
船計 8 隻(乗客定員数の合計は 25,000 人近くになる)と、バハマの最も人気の高い寄港地である
NCLH のプライベートアイランド グレートスターラップケイに複数の船を同時に接岸できるピアの建
築を発注したと発表。NCLH 史上最も包括的な建築発注となります。また、過去に例を見ない 10 年
戦略として、サービス、ゲスト体験、運営インフラが強化され、革新的なクルーズバケーションを提供
する上で常にリーダーシップを発揮していくための基盤となります。

新造船発注は 3 ブランド全てにわたるもので、2026 年から 2036 年までの 10 年間
に順次竣工の予定。ノルウェー・ジャンクルーズラインは、2025 年から 2028 年にか
けてのプリマプラスクラス船 4 隻の引渡しに続き、2030 年、2032 年、2034 年、2036
年には、資金調達条件付きで、いずれも 5,000 名近くを収容できる約 20 万総ト
ンのクルーズ船 4 隻の引渡しを予定しています¹。

オーシャンアクルーズは、2025 年に引き渡しされるアリュールクラス船の成功を踏まえ、
2027 年と 2029 年にそれぞれ 1,400 名を収容できる 8 万 6,000 総トンクラスのクル
ーズ船 2 隻の完成を予定しています。最後に、リージェント セブンシーズクルーズは、
受賞歴のあるエクスプローラークラス船に続き、2026 年と 2029 年にいずれも定員
850 名、7 万 7,000 総トンクラスのクルーズ船 2 隻の竣工を予定しています。船の設
備仕様、客室、ダイニング、娯楽施設、効率性、持続可能性、その他の特徴につ
いての詳細は、今後数か月のうちに発表される予定です。

ノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングス社長兼 CEO ハリー・ソマーは、「受
賞歴ある 3 ブランド全てにわたる戦略的新造船発注で、私共の保有船団に最新鋭



の船舶を着実に導入し、確実な長期的成長を見越すことができます。これにより、大規模運営の活用、イノベーションへのコミットメント強化、乗客に新しい商品や体験を提供する能力の強化を図ることができ、その一方で保有船団の効率を高める機会も得られることとなります。

グレートスターラップケイに新しい桟橋が加わることもうれしいニュースです。これによりカリブ海でのキャパシティが増えて複数の船が停泊することができるようになり、乗客体験の強化、さらには年間を通じて切れ目のない確実なアクセスが可能になります」としています。

イタリアの造船会社フィンカンティエリ社とのパートナーシップのもと、各ブランドは新クラスのクルーズ船を設計し、それぞれの船隊の中で最大かつ最も効率的で革新的な船の建設に注力することとなります。NCLH の持続可能性への取り組みに沿う新造船設計は、脱炭素化への道を前進させるものと期待されます。

フィンカンティエリ造船所のピエルロベルト・フォルジエロ CEO 兼 マネージングダイレクターは、「長年にわたって私共が NCLH とのお付き合いを築くことができた背景には、クルーズ業界におけるイノベーション、ラグジュアリー、持続可能性、乗客の満足度について新たなスタンダードを常に打ち立てていくという、クルーズ旅行の未来にむけた共有ビジョンがあります。私共はこれらの新たな発注をいただけたことに感謝するとともに、未来を担う世代のため、卓越性という共有レガシーの具現化を象徴するクルーズ船をお届けしていきます」とコメントしています。

NCLH は一定条件の下、オーシャニアクルーズとリージェント セブンシーズクルーズの各 2 隻の船の契約価格の 80%を出資するため、有利な条件で輸出信用融資を受けています。ノルウェージャンクルーズラインの船舶発注は、現在進行中の資金調達の結果待ちです。

ノルウェージャンクルーズライン・ホールディングスの最高財務責任者マーク・A・ケンパは、「これらの戦略的投資により、当社の成長軌道を確認なものとし、収入プロファイルを大幅に向上させ、将来にわたって株主価値を高めることができると期待しています。新造船のための引き渡し前の資金調達と小幅な初期分割払いを含む有利な支払い構造により、対 2023 年比で、2024 年末までにネットレバレッジを 1.5 倍にまで大幅に削減することが見込まれ、また、当面は毎年ネットレバレッジ削減が続くと期



待しています」と述べています。

ノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングスは、造船所の受注体制確保のためオーシャニアクルーズが別途実効性あるものとして当初発注した 2 隻に代わって、ノルウェー・ジャンクルーズライン (NCL) の 4 隻の発注を予定。オーシャニアクルーズの 2 隻目の引き渡しは契約上は 2028 年第 4 四半期の予定だが、2029 年にずれ込む可能性がある。引き渡し日程はすべて予定であり、変更される場合があります。

グレートスターラップケイに新棧橋開発

バハマにある NCLH プライベートアイランド グレートスターラップケイの新棧橋開発は、2024 年 夏に着工し、2025 年後半までに完成予定。投資額は約 1 億 5,000 万ドル。新棧橋では、NCLH の現存および将来に予定されている船級の大型船 2 隻が同時に着岸できるようになります。これにより、グレートスターラップケイでの乗客体験が向上し、ベリーズにある同プライベートアイランド ハーベストケイとともに、東カリブ海と西カリブ海でワールドクラスのデスティネーションを供給していくことができます。

電話会議

2024 年 4 月 9 日 (火) 午前 8 時 (米国東部時間) に行われた今回の発表に関する電話会議の録画版は、NCLH の投資家向けウェブサイト <https://www.nclhltd.com/investors> にて電話会議終了後 30 日間ウェブサイトで公開されています。

ノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングスについて

ノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングス株式会社 (NYSE: NCLH) はノルウェー・ジャンクルーズライン、オーシャニアクルーズ、リージェント セブンシーズクルーズの各ブランドを運営し、世界のクルーズ業界をけん引しています。3 ブランドの保有船合計 32 隻、総乗客数は 6 万 6,500 名余。各クルーズブランドのアイテナリーには世界約 700 のデスティネーションが網羅されています。NCLH の 3 ブランドでは、2036 年までに総乗客数 4 万 1,000 名近くを数える 13 隻の新造クルーズを船導入予定。詳細については www.nclhltd.com で。

¹ ノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングスは、造船所の受注体制確保のためオーシャニアクルーズが別途実効性あるものとして当初発注した 2 隻に代わって、ノルウェー



NORWEGIAN CRUISE LINE®

ージャンクルーズライン（NCL）の4隻の発注を予定。オーシャニアクルーズの2隻目の引き渡しは契約上は2028年第4四半期の予定だが、2029年にずれ込む可能性がある。引き渡し日程はすべて予定であり、変更される場合がある。

【発行元】ノルウェージャンクルーズライン PR 株式会社フレア